

「旅」の歴史と「観光」政策

～観光立国から観光大国へ～

國分 浩 駒沢女子大学 教授

2020年東京で2度目のオリンピックが開催されます。第1回目が開催された1964年は日本の観光産業にとって記念すべき年でした。東海道新幹線や高速道路の開通、大型都市ホテルの開業と並んで、海外旅行が自由化され誰でも海外旅行を楽しむことが出来るようになりました。しかし、今では海外旅行者数よりも訪日外国人の方が上回っています。そこには日本の「観光政策」が大きく関わってきたのです。

- 曜日 日曜日
- 時間 10:00～11:30
- 受講料 4,000円
- 会場 地域振興プラザ
- 定員 60名
- 単位数 1単位

日程		講座内容
第1回	4/17(日)	数字で見る観光 「観光」が与える様々な影響と効果とは？
第2回	5/15(日)	日本の観光政策 日本最初の「観光政策」は関所の廃止！
第3回	6/19(日)	旅の歴史とこれからの旅行 いつ頃から「団体旅行」は始まったのでしょうか？
第4回	7/17(日)	インバウンドがもたらす地域振興 多数の外国人観光客に地方を訪問して貰うには？
第5回	8/21(日)	旅行商品と賢いツアーの選び方 パッケージ旅行の「保証」や「補償」をご存知でしたか？
第6回	9/18(日)	2020年東京五輪に向けた課題 東京五輪までの宿泊施設不足の切り札は「民泊」！

講師 Profile

國分 浩 (こくぶ ひろし)

駒沢女子大学人文学部教授
1974年立教大学社会学部卒業後、
(株)日本交通公社(現JTB)入社。
2012年定年退職。同年より駒沢女子大学にて「観光学概論」「観光政策論」「旅行業概論」「観光事業論」等の授業を担当。

主な著書(共著)
「観光概論」(JTB総合研究所)